

# Express5800 シリーズ RAID コントローラ バッテリー 定期リフレッシュ手順書 (Windows 版) (Rev 1.0)

## まえがき

本手順書は、Express5800 シリーズに搭載される RAID コントローラのバッテリーに対して定期的なリフレッシュを実行するための手順書です。

## 目 次

1. 対象 .....	3
2. 注意事項 .....	4
3. ツールについて .....	5
4. ツールのインストール .....	5
5. バッテリー定期リフレッシュの設定方法 .....	6
6. ツールのアンインストール .....	21
7. ログの説明 .....	23
8. バッテリーリフレッシュの手動実行 .....	24

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 1. 対象

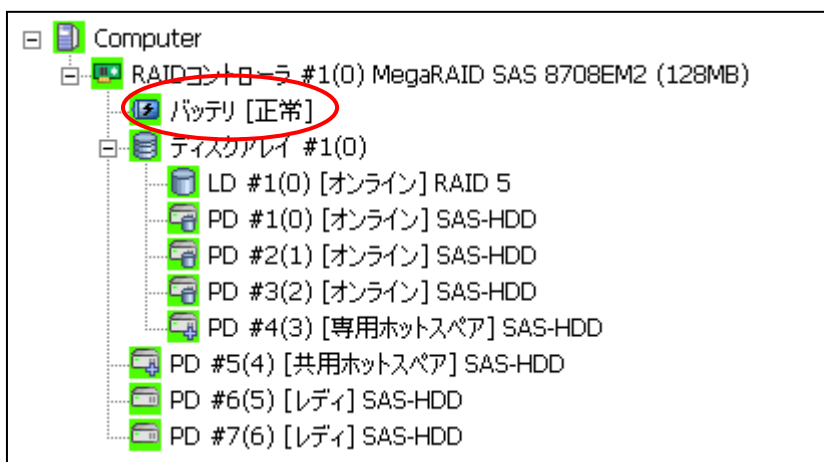
### 1.1 対象製品

以下の RAID コントローラのうち、増設バッテリーオプションを搭載している RAID コントローラが対象となります。

※140Rf-4、R140a-4 内蔵の RAID コントローラには、バッテリーが標準搭載されています。

- ① N8103-116/116A/117/117A/118/118A RAID コントローラ
- ② N8103-115 RAID コントローラ
- ③ N8103-129/130 RAID コントローラ
- ④ 本体装置 (Express5800/140Rf-4, Express5800/R140a-4) 内蔵の RAID コントローラ
- ⑤ 本体装置内蔵の RAID コントローラ (N8103-116/116A 相当)
- ⑥ 本体装置 (Express5800/R120a-2 6G SAS 対応モデル [N8100-1590]) 内蔵の RAID コントローラ

バッテリーが接続されているかどうかは、Universal RAID Utility の RAID ビューアを起動すると確認することができます。



### 1.2 対象 OS

本作業で使用するツールは、以下の OS について記述したものです。

Microsoft Windows Server 2003(with Service Pack1以降)  
Microsoft Windows Server 2003,x64 Edition  
Microsoft Windows Server 2003 R2  
Microsoft Windows Server 2003 R2,x64 Edition  
Microsoft Windows Server 2008  
Microsoft Windows Server 2008 (x64)  
Microsoft Windows Server 2008 R2 (x64)

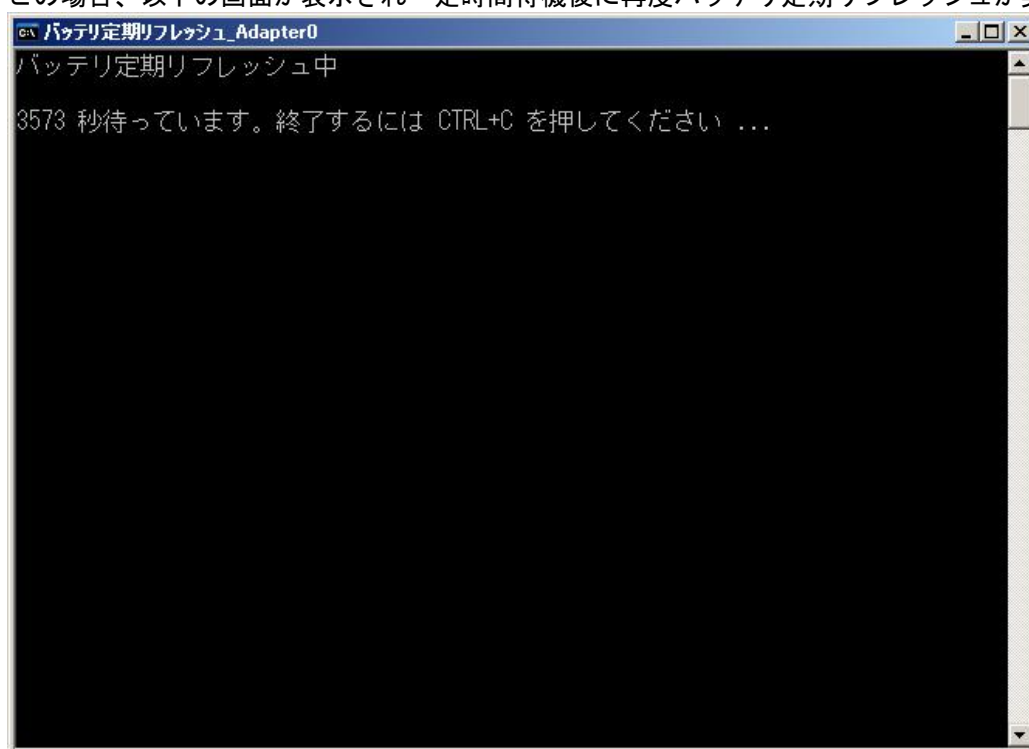
本書では以下の略称を使用します。

対象 OS 名	略称
Microsoft Windows Server 2003(with Service Pack1 以降)	Windows Server 2003
Microsoft Windows Server 2003,x64 Edition	
Microsoft Windows Server 2003 R2	
Microsoft Windows Server 2003 R2,x64 Edition	
Microsoft Windows Server 2008	Windows Server 2008
Microsoft Windows Server 2008 (x64)	
Microsoft Windows Server 2008 R2 (x64)	

## 2. 注意事項

本作業を実施される前に、以下の注意事項を確認して下さい。

- 1) 本ツールの使用に際して、Windows Server 2003は**管理者 (Administrator) 権限**が必要です。  
Windows Server 2008 の場合は**管理者 (Administrator) 自身**で実行していただく必要があります。
- 2) 本ツールの設定に際して、システムの再起動は不要です。
- 3) 本手順書に記載の操作以外は行わないで下さい。
- 4) 本手順書で使用するツールは、他の用途では使用しないでください。
- 5) OS を再インストールした場合は、本ツールによる再設定が必要です。
- 6) 1.1 項の対象製品を追加実装した場合は、本ツールによる再設定が必要です。
- 7) バッテリリフレッシュ中に再起動をしないでください。バッテリリフレッシュ中に再起動を行うとバッテリリフレッシュが正常に実施されない場合があります。  
バッテリリフレッシュ中に再起動を行った場合は、登録したバッテリリフレッシュのタスクを手動にて実行してください。(『8. バッテリリフレッシュの手動実行』参照)
- 8) バッテリ充電中には、バッテリ定期リフレッシュが実行できません。  
この場合、以下の画面が表示され一定時間待機後に再度バッテリ定期リフレッシュが実行されます。

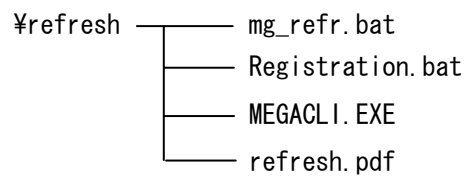


- 9) バッテリリフレッシュ中は、キャッシュモード(設定値)が自動切替の場合、キャッシュモード(現在値)が Write Through になるため、処理性能が低下する場合があります。
- 10) バッテリリフレッシュ時間は、バッテリーの状態や RAID コントローラの種類によって異なります。  
目安としては 4~13 時間程度かかります。

### 3. ツールについて

#### 3.1 ツールの構成

ダウンロードしたファイル（refresh.zip）を解凍してできる以下のファイルを使用します。



#### 3.2 ファイルの説明

- ① mg\_refr.bat  
バッテリーのリフレッシュをスタートするバッチファイルです。
- ② Registration.bat  
指定日時に mg\_refr.bat を起動するようスケジュール登録するバッチファイルです。
- ③ MEGACLI.EXE  
mg\_refr.bat で使用するモジュールです。
- ④ refresh.pdf  
本手順書です。

### 4. ツールのインストール

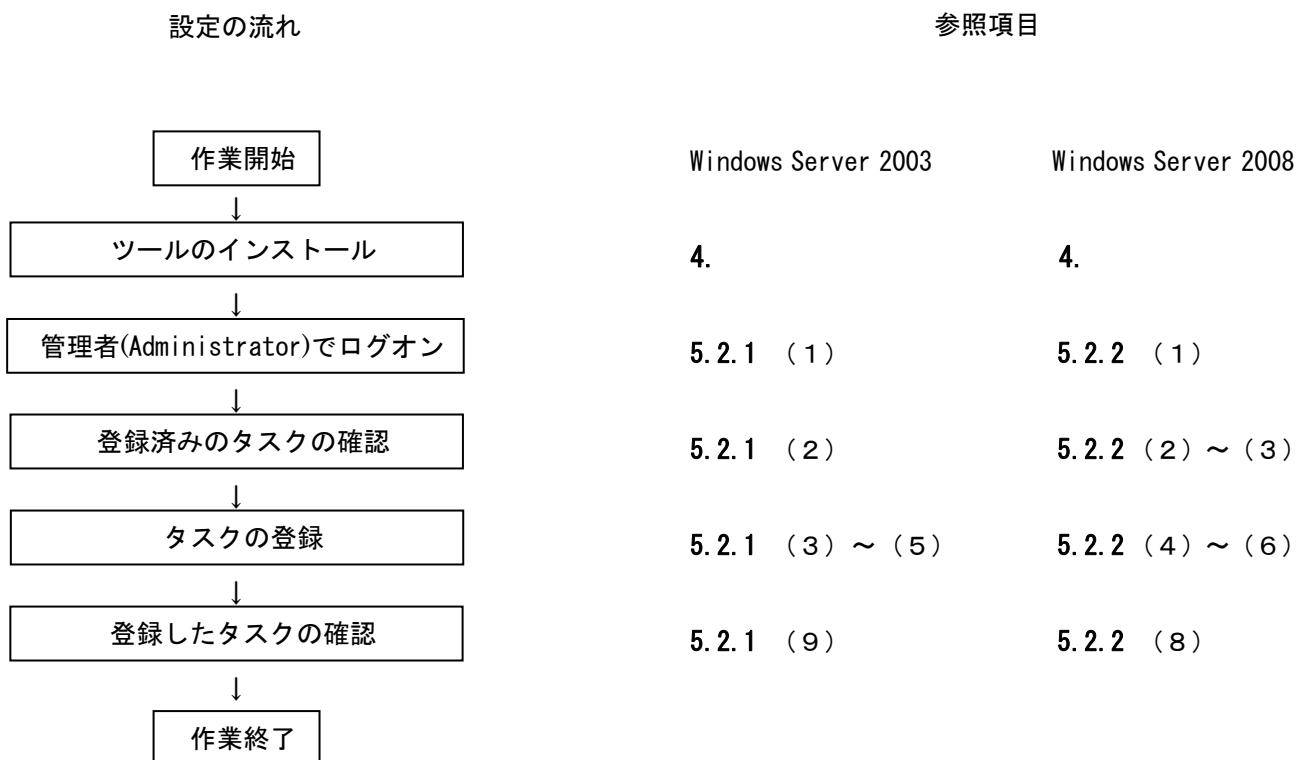
refresh.zip を解凍して出来る refresh フォルダを配下のファイルごと **C ドライブ直下** にコピーします。

## 5. バッテリ定期リフレッシュの設定方法

※定期リフレッシュではなく一度だけリフレッシュを行う場合や、バッテリリフレッシュ中にサーバの再起動を行った場合は、『8. バッテリリフレッシュの手動実行』を参照してください。

### 5.1 設定の流れ

OSにより参照する項目が異なります。詳細は各項目を参照ください。



## 5.2 設定方法

### 5.2.1 Windows Server 2003

(1) 管理者 (Administrator) 権限を持つユーザでログオンします。

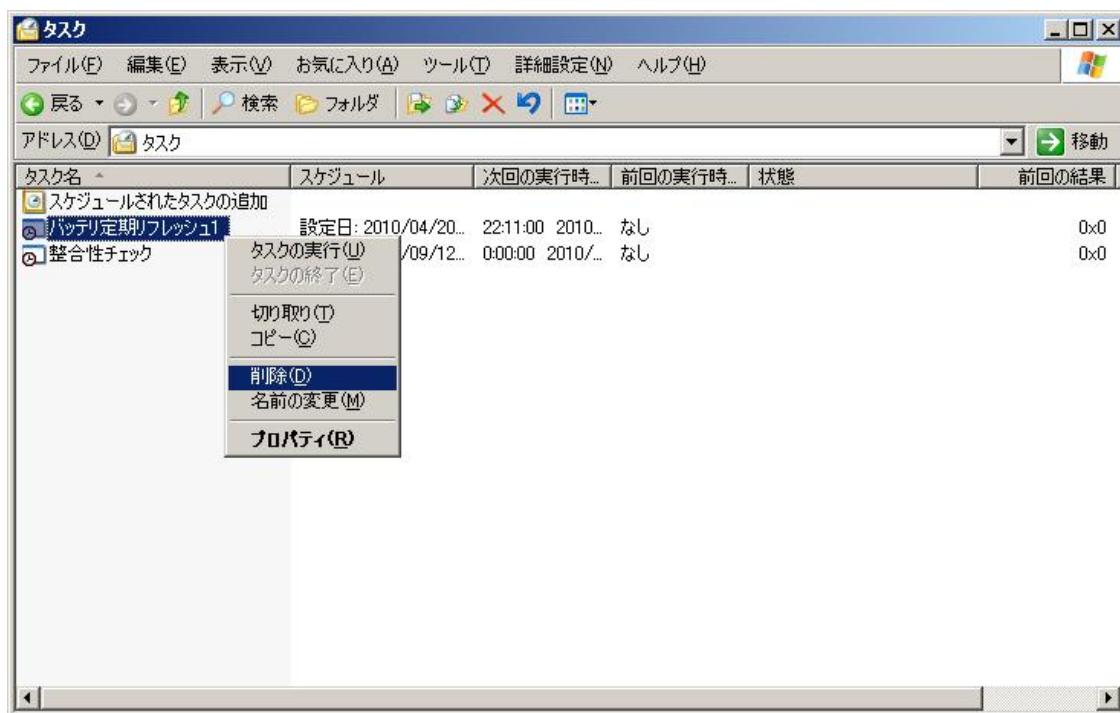
(2) 本ツールによって登録されたタスクがあるか確認します。

エクスプローラを起動し、コントロールパネル⇒タスクを開きます。

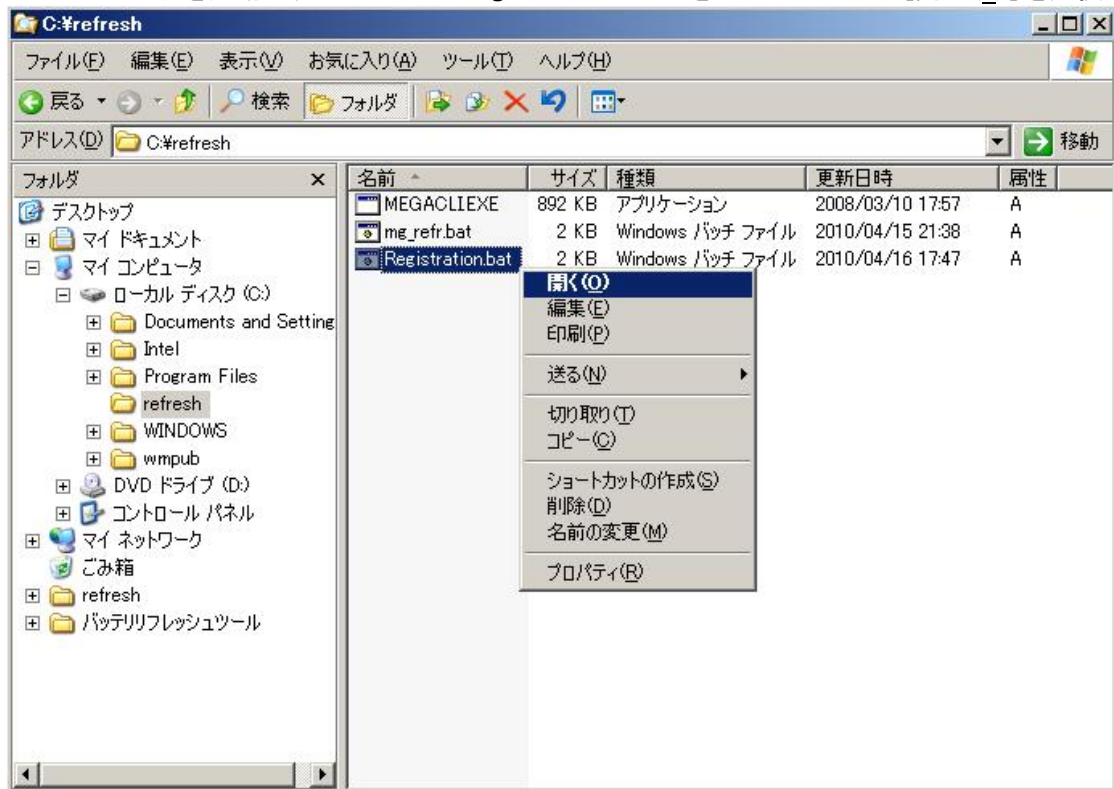
本ツールにより登録された以下のタスクがある場合は、タスクの削除を行ってください。

タスク名：[バッテリー定期リフレッシュ X] (X は Adapter 番号)

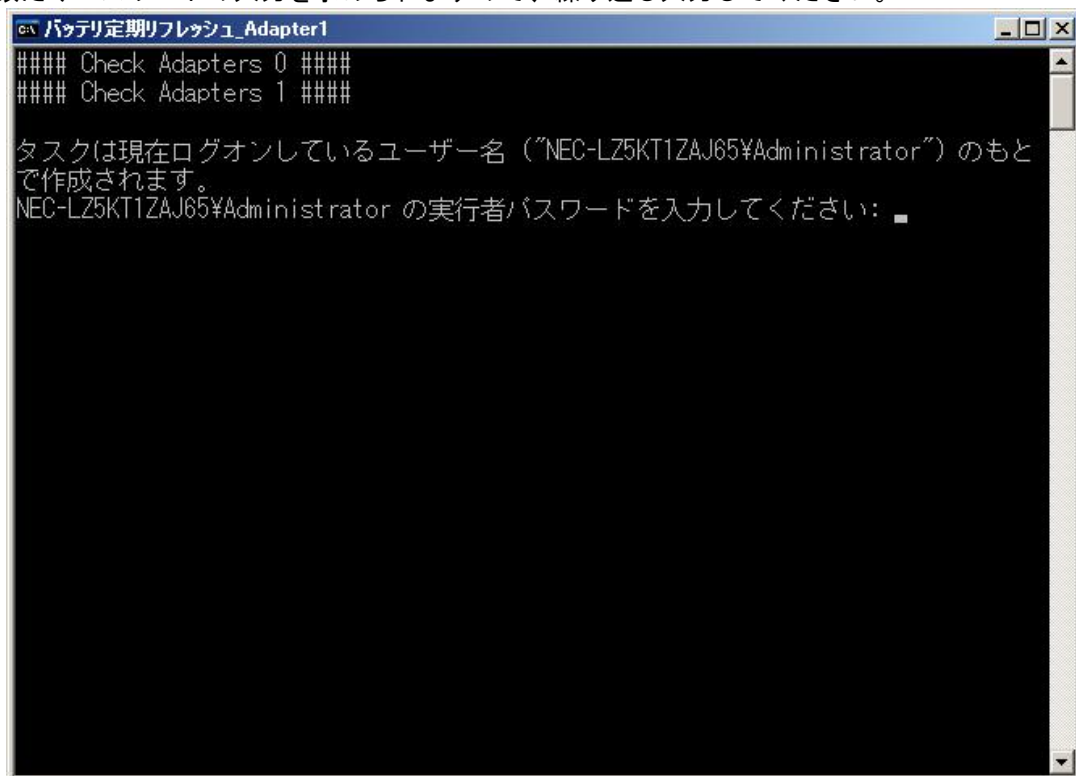
タスクの削除は、タスクの画面から登録したタスクを右クリックして[削除(D)]を選択します。



- (3) エクスプローラを起動し、C:\¥refresh¥Registration.bat を右クリックして[開く(O)]を選択します。

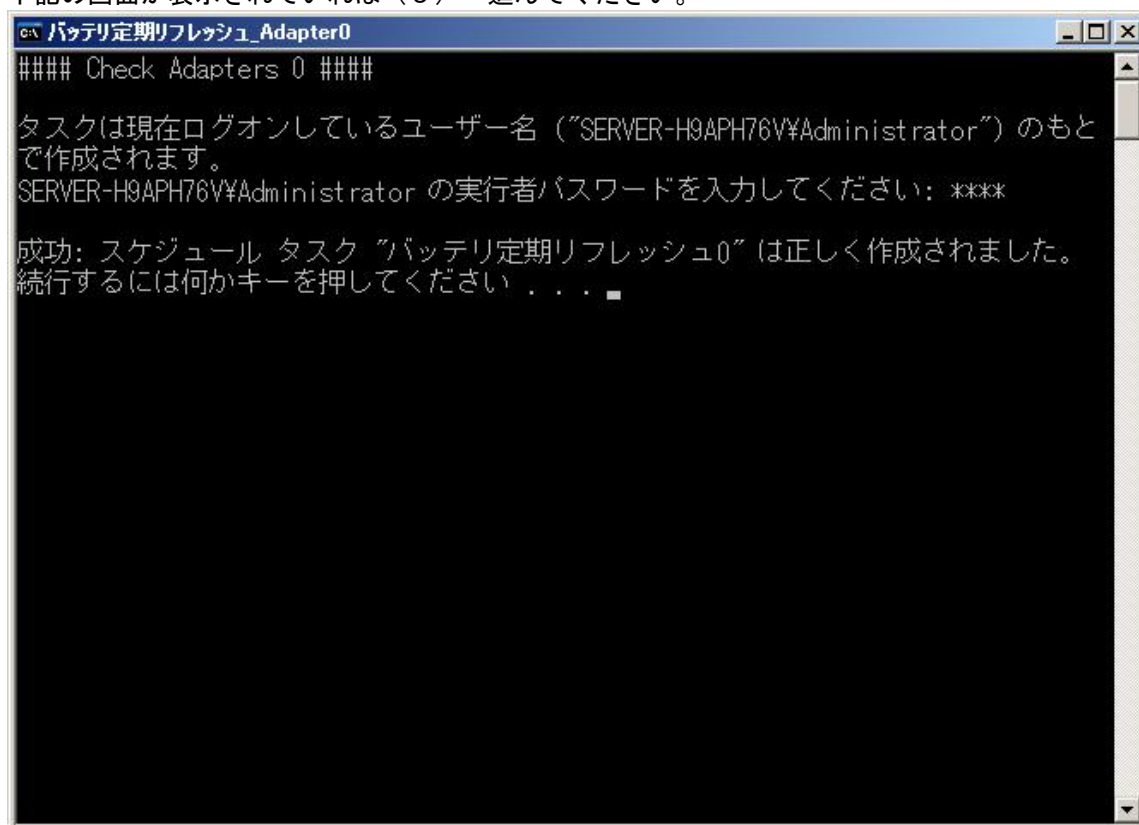


- (4) バッテリ定期リフレッシュの必要な Adapter についてのみ mg\_refr.bat を実行するタスクを登録します。このとき、タスクを実行するためのログオンパスワードを入力します。また、対象の Adapter の数だけパスワードの入力を求められますので、繰り返し入力してください。

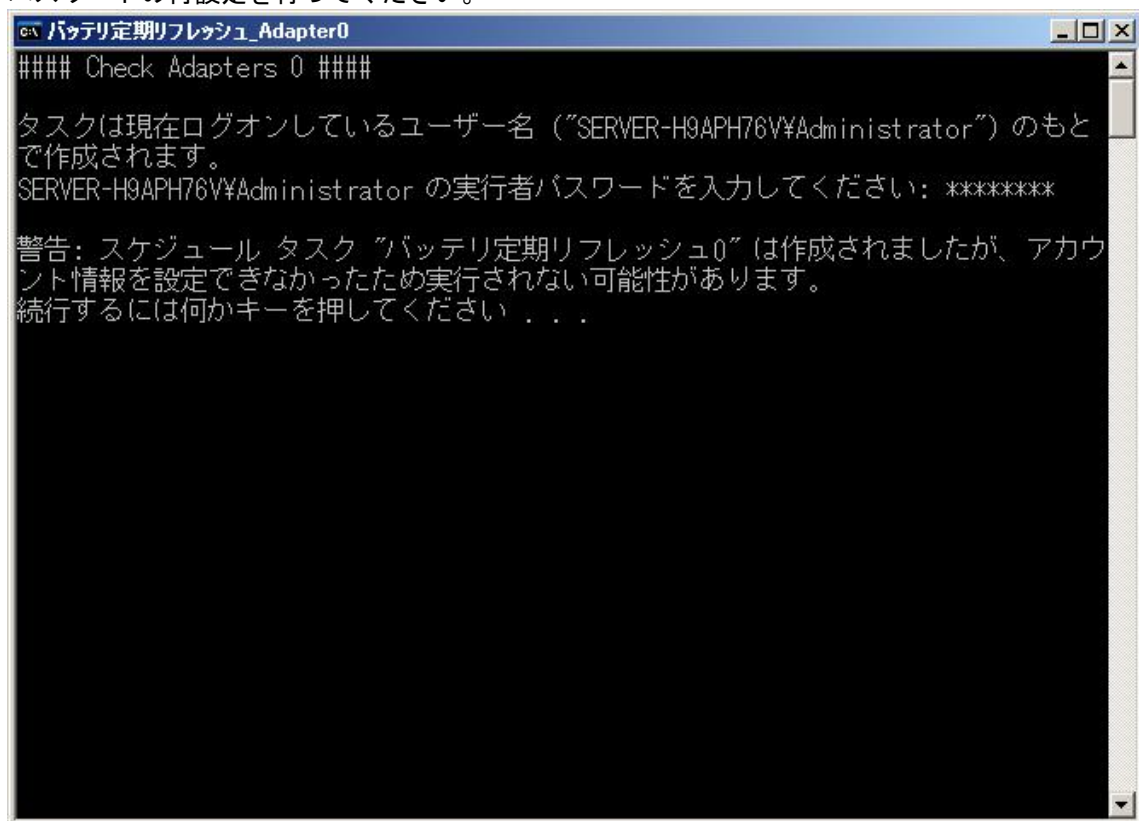




- (5) パスワード入力後、タスクの登録に成功していることを確認してください。  
下記の画面が表示されていれば(9)へ進んでください。



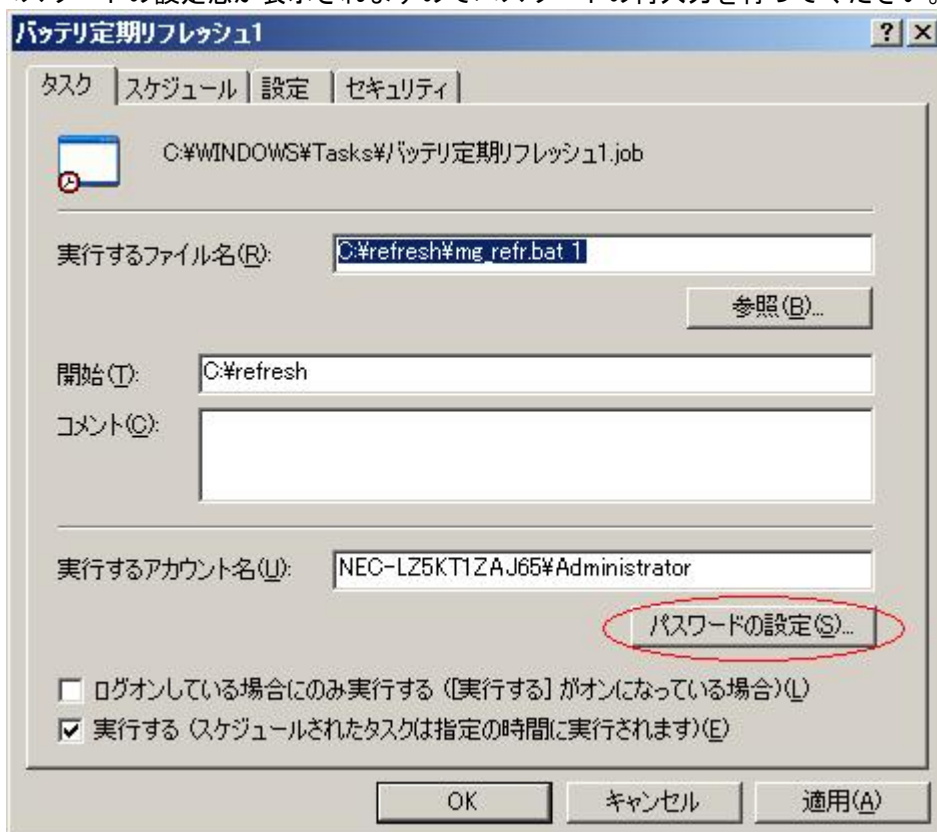
- (6) 下記の警告が表示された場合は、パスワードの入力に失敗していますので(7)へ進みパスワードの再設定を行ってください。



- (7) エクスプローラを起動し、コントロールパネル⇒タスクを開きます。  
登録されたタスクを右クリックしてプロパティを開きます。



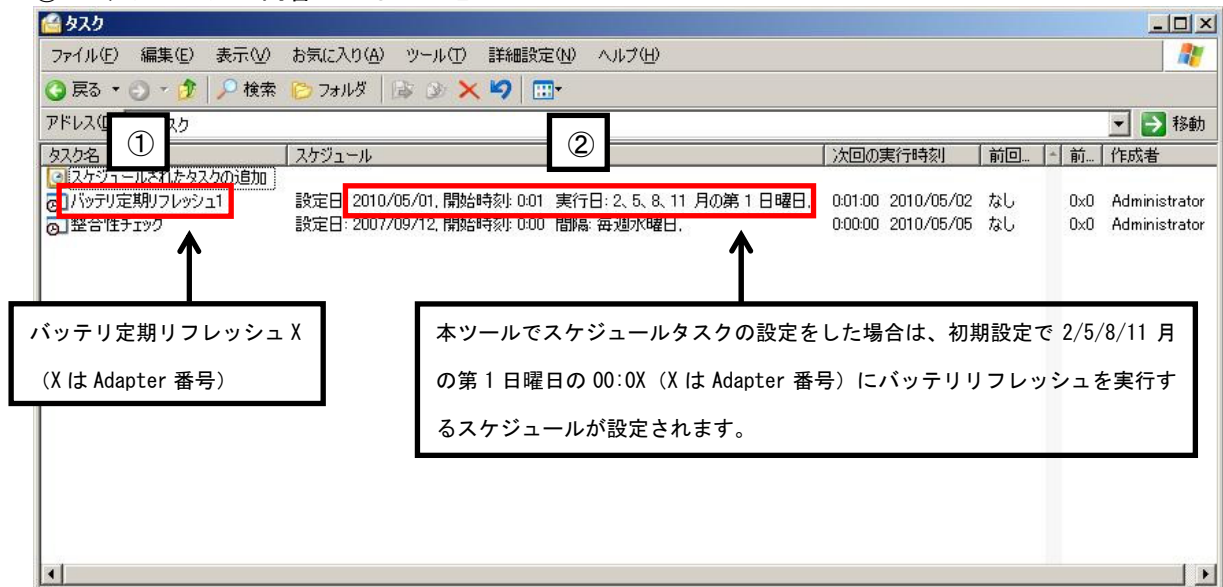
- (8) パスワードの設定ボタンを押下します。  
パスワードの設定窓が表示されますのでパスワードの再入力を行ってください。



(9) エクスプローラを起動し、コントロールパネル⇒タスクを開きます。

ここで以下の2点を確認します。

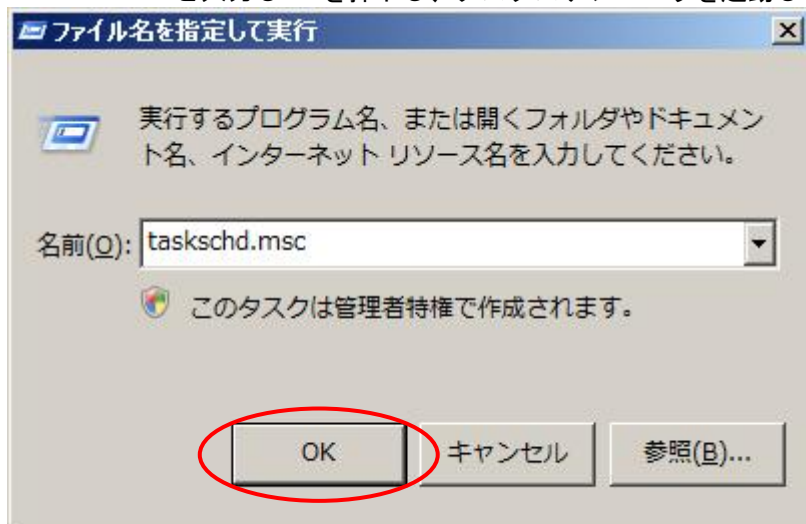
- ① (5) で登録した Adapter のタスクが登録されていること
- ② スケジュールの内容が正しいこと



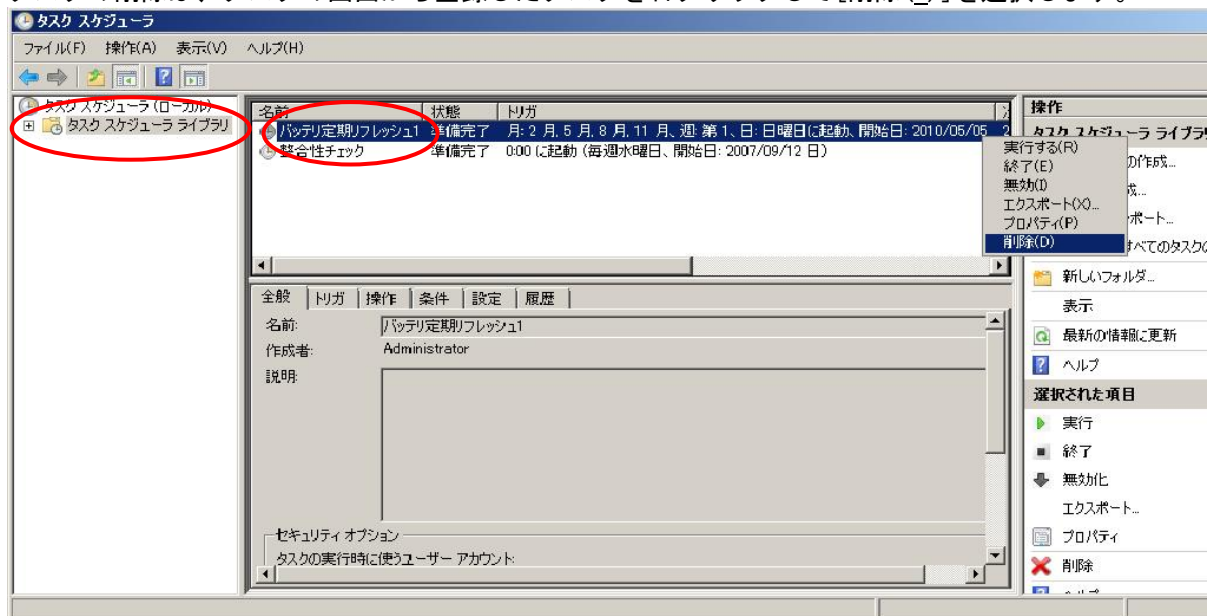
(10) バッテリーリフレッシュ中は性能が低下する場合があります。初期設定のスケジュールを変更する場合は、『5.3 登録したタスクのスケジュール変更方法』を参照してスケジュールの変更を行ってください。

## 5.2.2 Windows Server 2008

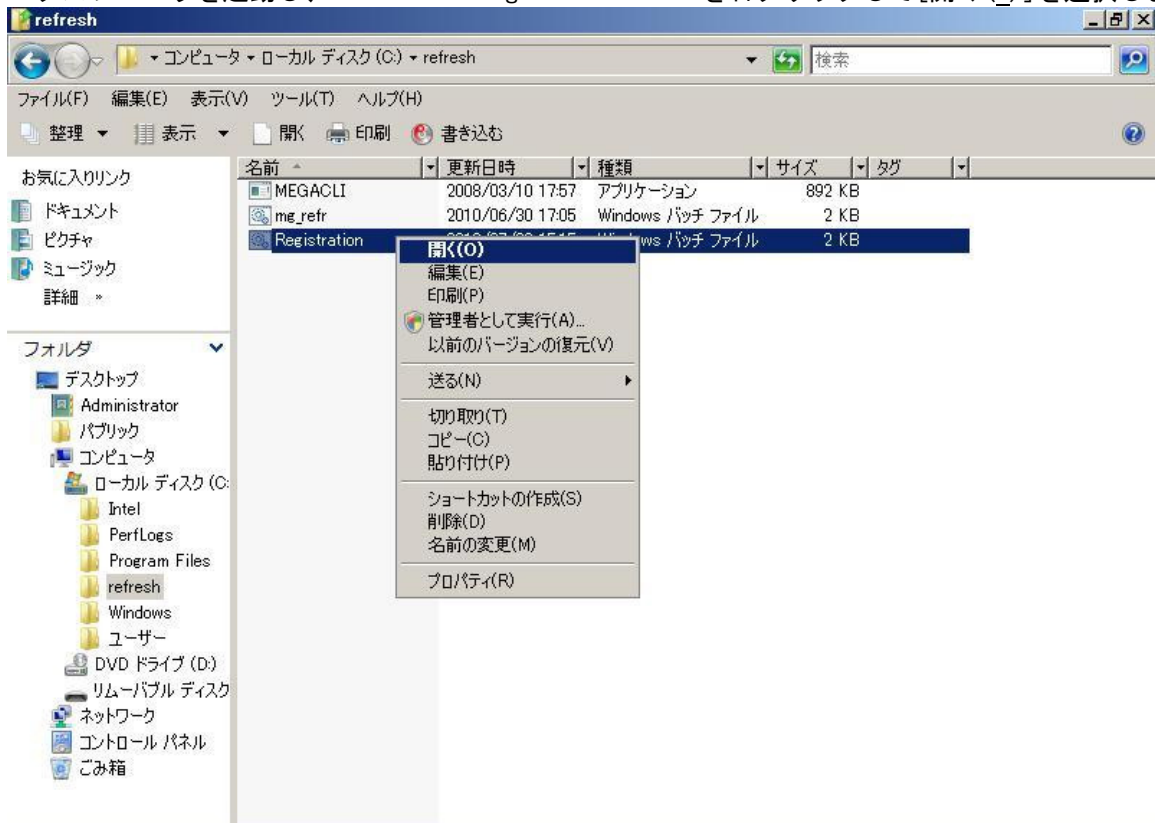
- (1) 管理者(Administrator)自身でログオンします。
- (2) タスクスケジューラを起動します。  
スタートメニューから、ファイル名を指定して実行を押下します。  
Taskschd.msc と入力し OK を押下し、タスクスケジューラを起動します。



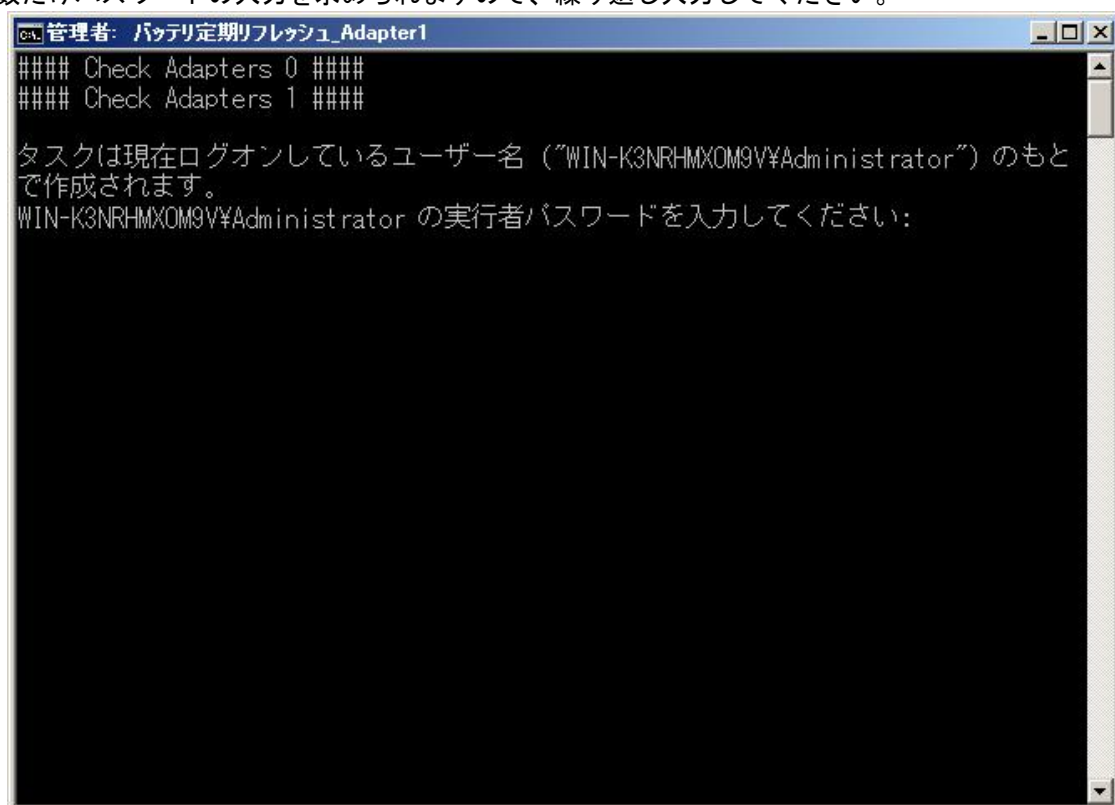
- (3) 本ツールによって登録されたタスクがあるか確認します。  
タスクスケジューラライブラリに、本ツールにより登録された以下のタスクがある場合はタスクの削除を行ってください。  
名前: [バッテリー定期リフレッシュ X] (X は Adapter 番号)  
タスクの削除は、タスクの画面から登録したタスクを右クリックして[削除(D)]を選択します。



- (4) エクスプローラを起動し、C:\¥refresh¥Registration.bat を右クリックして[開く(O)]を選択します。

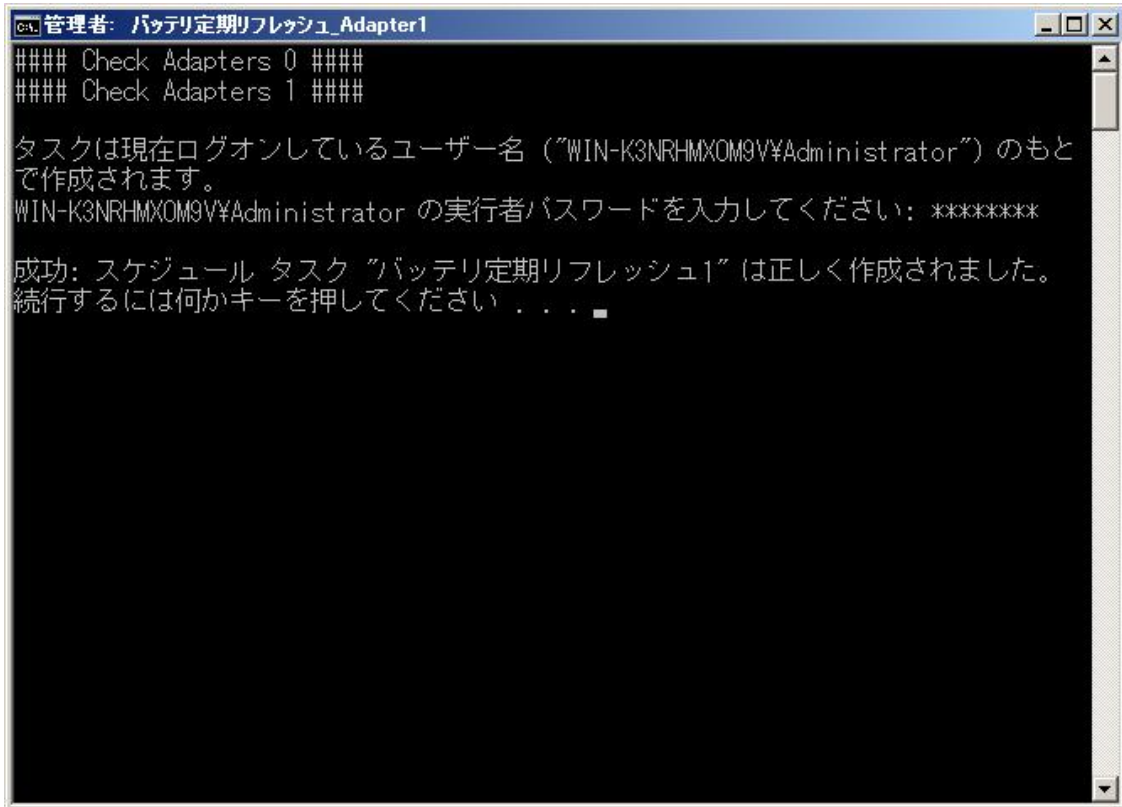


- (5) バッテリ定期リフレッシュに必要な Adapter についてのみ mg\_refr.bat を実行するタスクを登録します。このとき、タスクを実行するためのログオンパスワードを入力します。また、対象の Adapter の数だけパスワードの入力を求められますので、繰り返し入力してください。

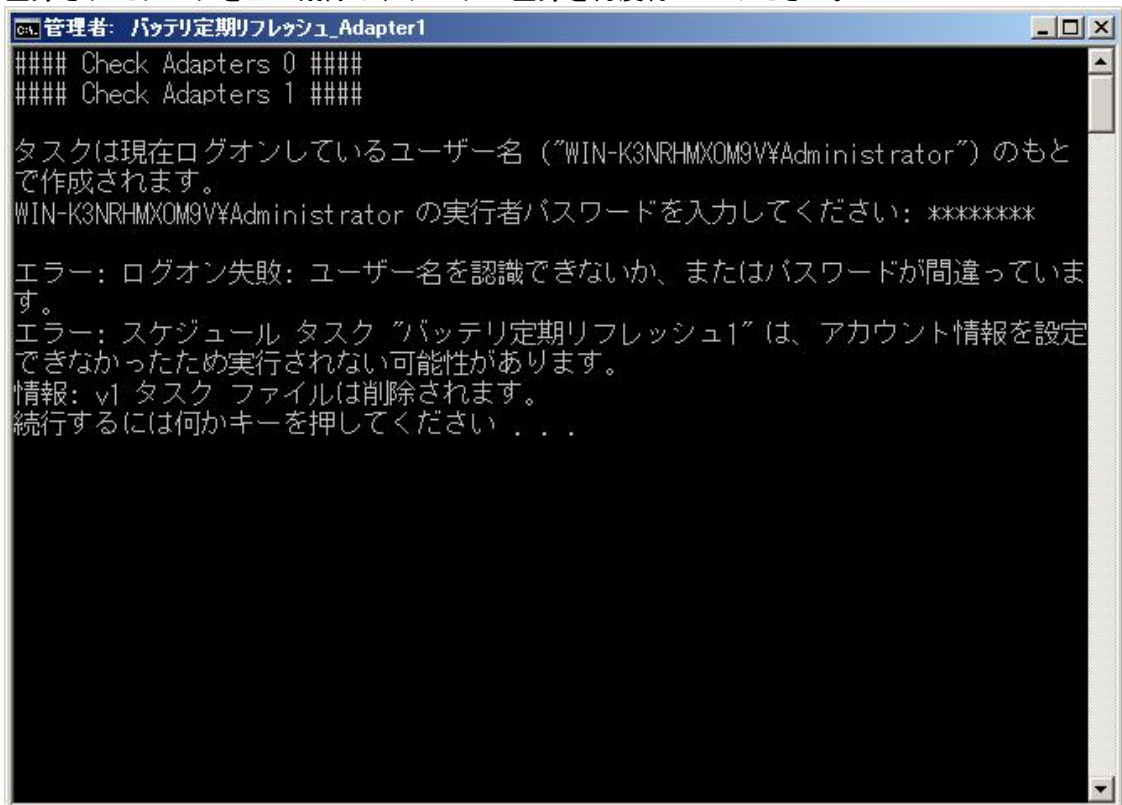




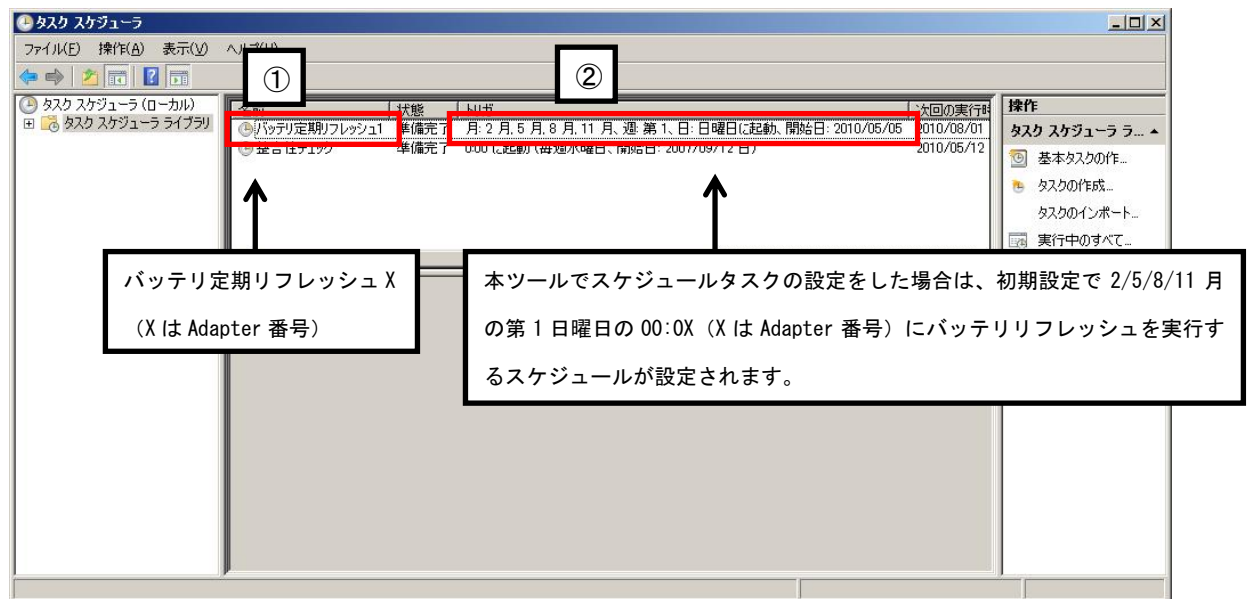
- (6) パスワード入力後、タスクの登録に成功していることを確認してください。  
下記の画面が表示されていれば(9)へ進んでください。



- (7) 下記の警告が表示された場合は、パスワードの入力に失敗していますので(3)へ戻り登録されたタスクを全て削除し、タスクの登録を再度行ってください。



- (8) (2) にしたがってタスクスケジューラを起動します。  
ここで以下の2点を確認します。
- ① (6) で登録した Adapter のタスクが登録されていること
  - ② スケジュールの内容が正しいこと



- (9) バッテリリフレッシュ中は性能が低下する場合があります。初期設定のスケジュールを変更する場合は、『5.3 登録したタスクのスケジュール変更方法』を参照してスケジュールの変更を行ってください。

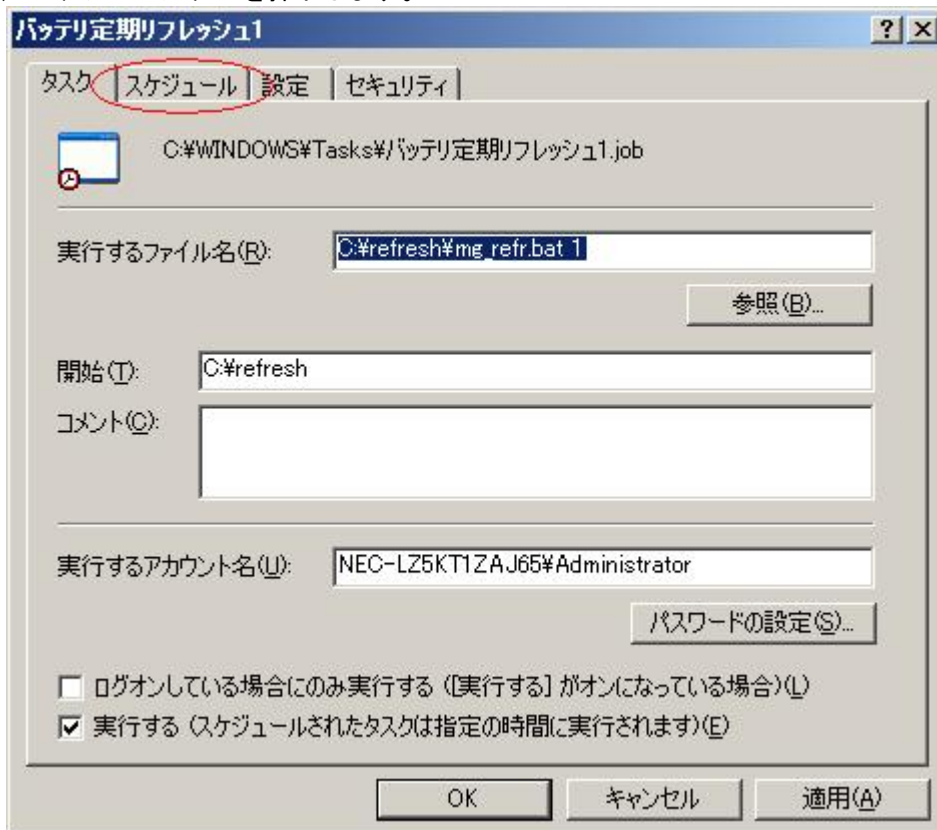
## 5.3 登録したタスクのスケジュール変更方法

### 5.3.1 Windows Server 2003

- (1) エクスプローラを起動し、コントロールパネル⇒タスクを開きます。  
登録されたタスクを右クリックしてプロパティを開きます。



- (2) スケジュールタブを押下します。





(3) タスクの実行スケジュールを設定します。

以下は、2/5/8/11 月の第 1 日曜日の 00:01 にバッテリーリフレッシュを実行するスケジュール例です。  
タスクスケジューラの詳細な設定方法は Windows のヘルプを参照下さい。



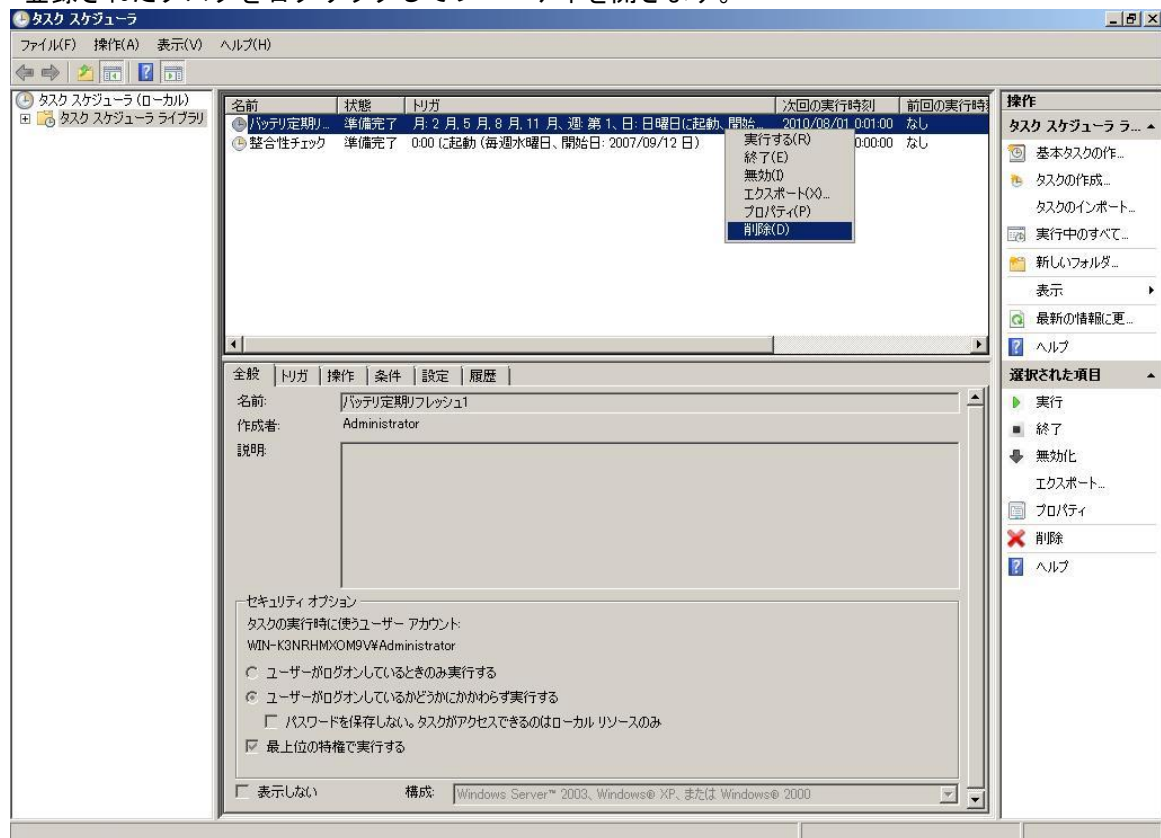
複数の Adapter のタスク登録を行う場合には、開始時刻をずらして登録してください。

(推奨 1 分おき)

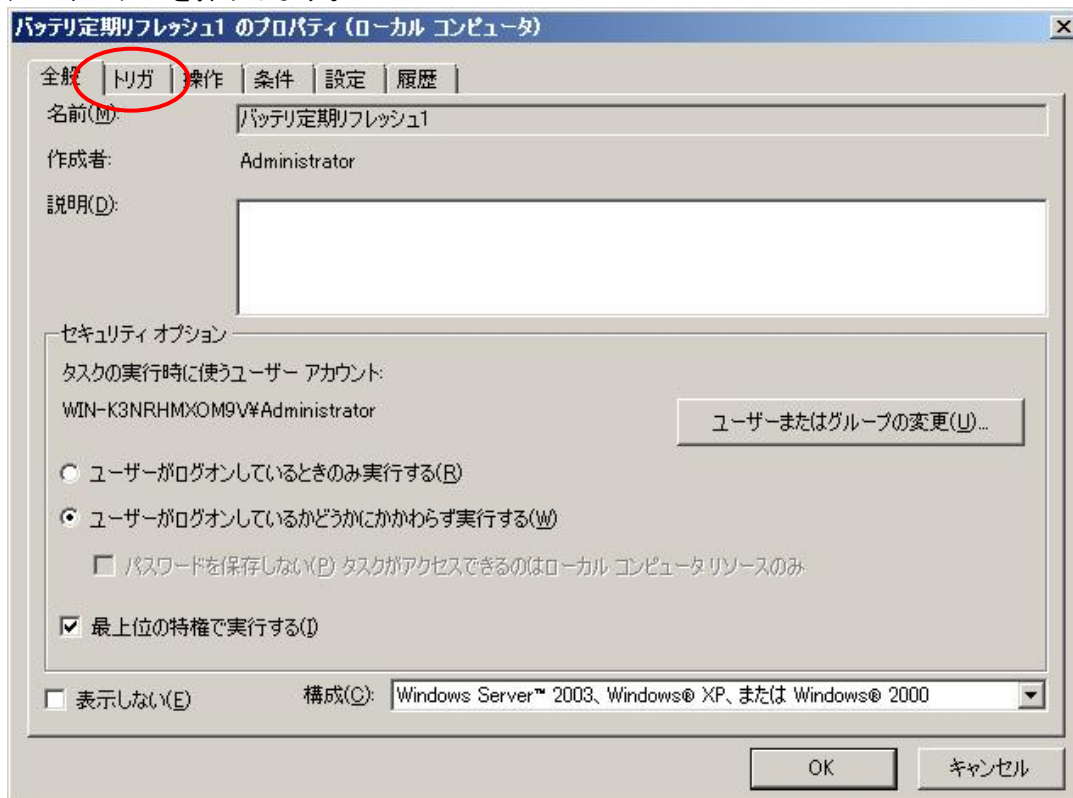
バッテリー定期リフレッシュの実行間隔は 3 ヶ月を推奨します。

### 5.3.2 Windows Server 2008

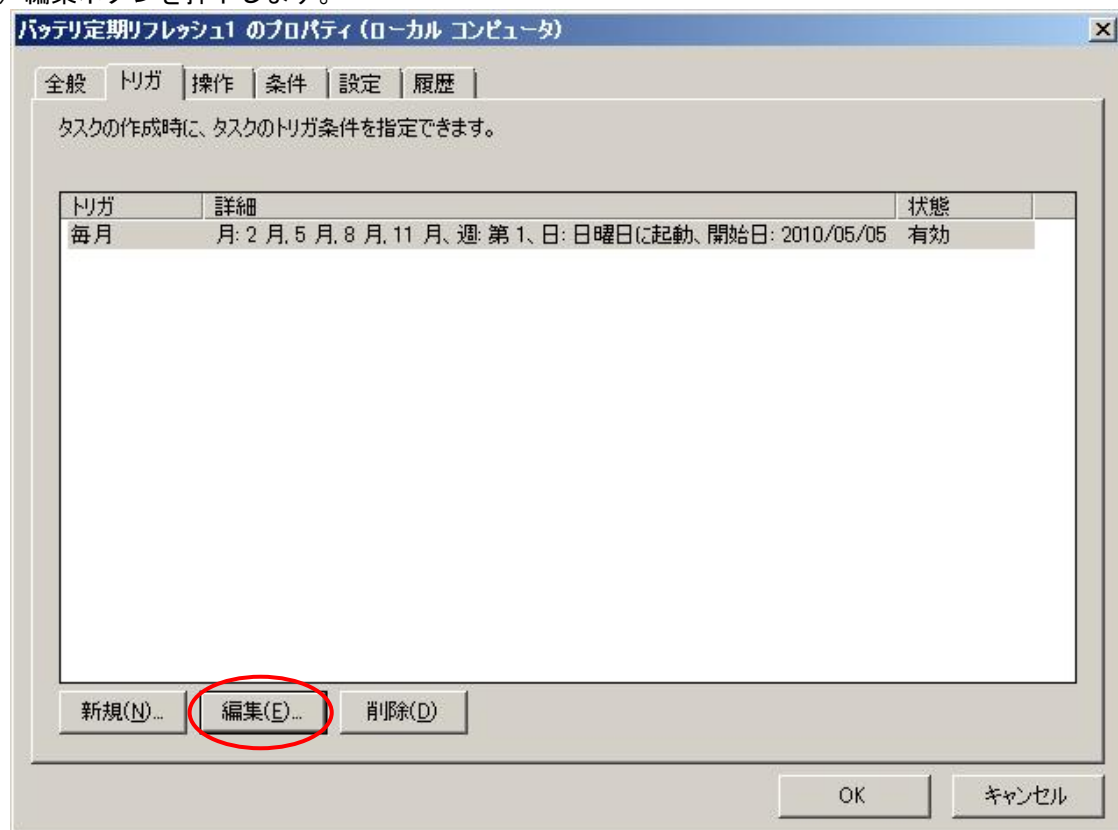
- (1) 5.2.2 (2) 項に従ってタスクスケジューラを起動します。  
登録されたタスクを右クリックしてプロパティを開きます。



- (2) トリガタブを押下します。



(3) 編集ボタンを押下します。



(4) タスクの実行スケジュールを設定します。

以下は、2/5/8/11 月の第 1 日曜日の 00:01 にバッテリーリフレッシュを実行するスケジュール例です。  
タスクスケジューラの詳細な設定方法は Windows のヘルプを参照下さい。

トリガの編集

タスクの開始(G): スケジュールに従う

設定

☐ 1 回(O)  
☐ 毎日(D)  
☐ 毎週(W)  
☒ 毎月(M)

開始(S): 2010/05/05 0:01:00 ☐ タイムゾーンにまたがって同期(Z)

月(H): 2月, 5月, 8月, 11月

☐ 日(A):  
☒ 曜日(N): 第1 日曜日

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する (ランダム)(K): 1 時間

☐ 繰り返し間隔(P): 1 時間 継続時間(E): 1 日

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(D)

☐ 停止するまでの時間(L): 3 日

☐ 有効期限(X): 2011/05/05 9:16:33 ☐ タイムゾーンにまたがって同期(E)

☒ 有効(B)

OK キャンセル

複数の Adapter のタスク登録を行う場合には、開始時刻をずらして登録してください。  
(推奨 1 分おき)

バッテリー定期リフレッシュの実行間隔は 3 ヶ月を推奨します。

## 6. ツールのアンインストール

### 6.1 ツールの削除方法

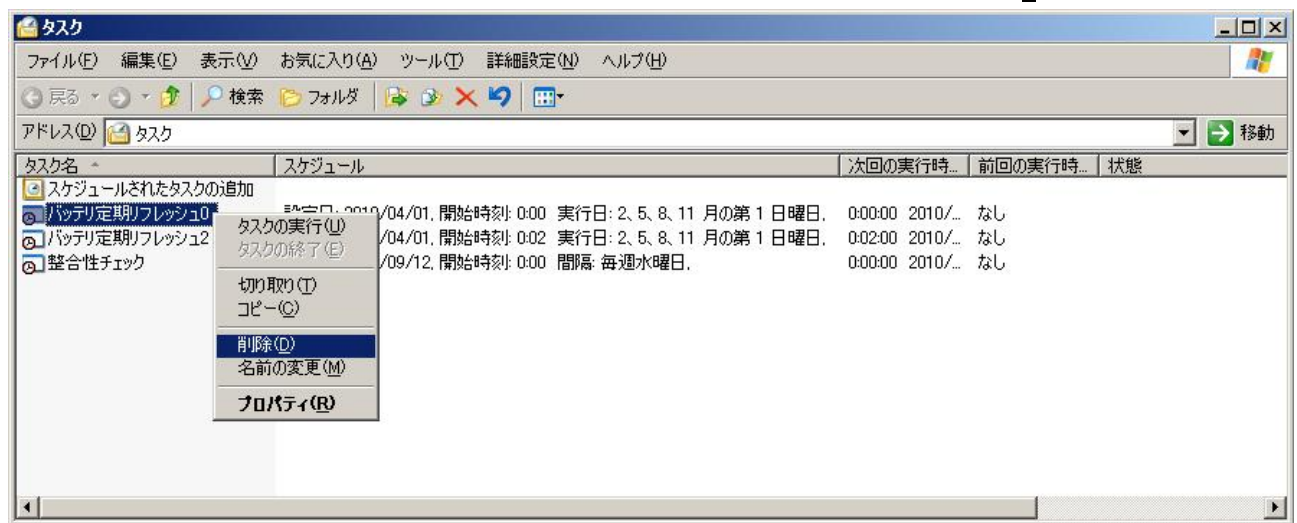
C:\¥ refresh フォルダを配下のファイルごと削除します。

### 6.2 登録されたタスクの削除方法

ツールを削除してもツールによって登録されたタスクは削除されません。以下の手順で登録されたタスクの削除を行ってください。

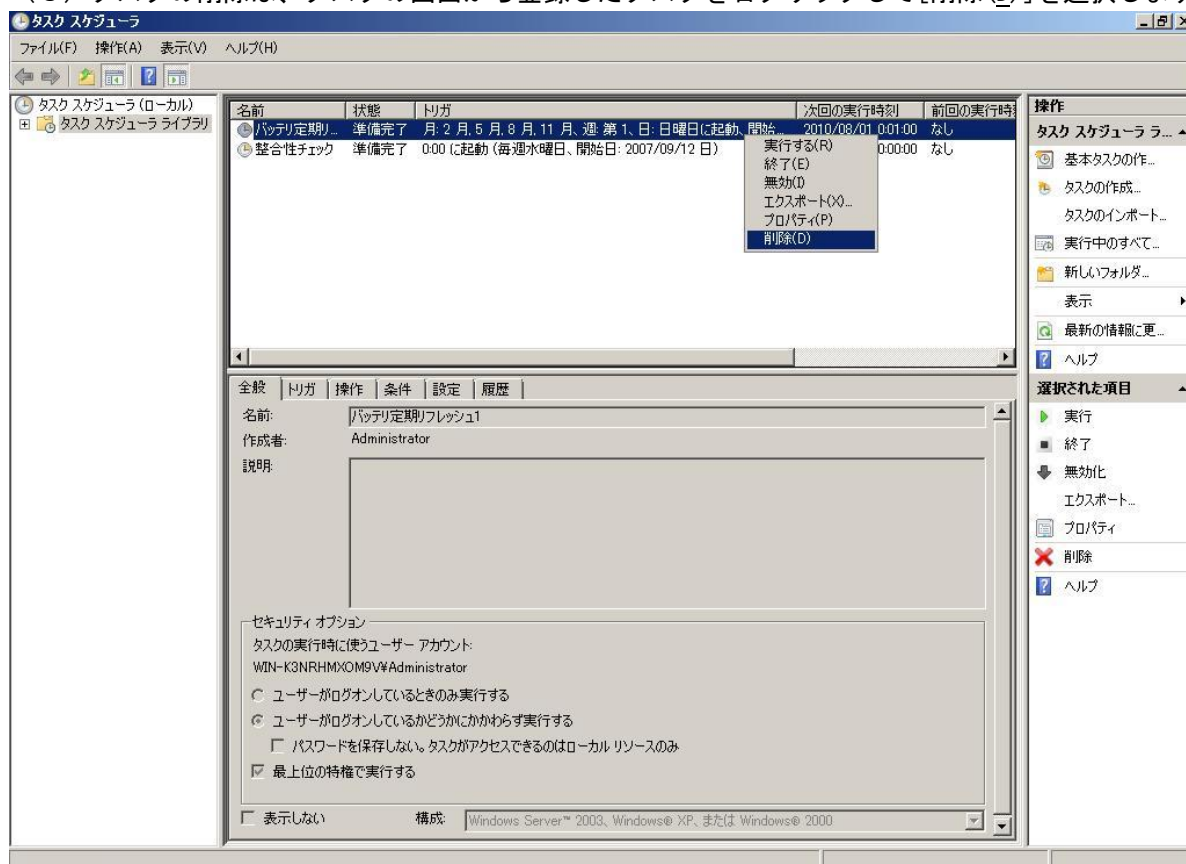
#### 6.2.1 Windows Server 2003

- (1) 管理者 (Administrator) 権限を持つユーザでログオンします。
- (2) 5.2.1 (2) 項に従ってタスクスケジューラを起動します。
- (3) タスクの削除は、タスクの画面から登録したタスクを右クリックして[削除(D)]を選択します。



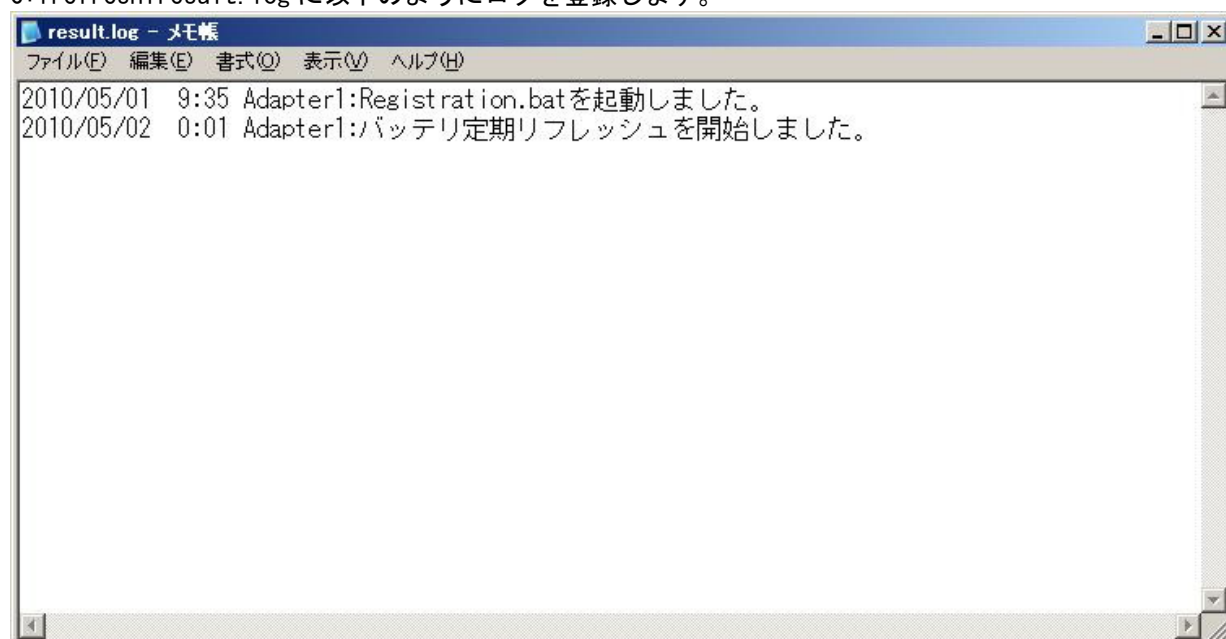
## 6.2.2 Windows Server 2008

- (1) 管理者(Administrator)自身でログオンします。
- (2) 5.2.2 (2) 項に従ってタスクスケジューラを起動します。
- (3) タスクの削除は、タスクの画面から登録したタスクを右クリックして[削除(D)]を選択します。



## 7. ログの説明

バッテリー定期リフレッシュをタスク登録した場合や、リフレッシュを開始した場合は  
C:\¥refresh¥result.log に以下のようにログを登録します。





## 8. バッテリリフレッシュの手動実行

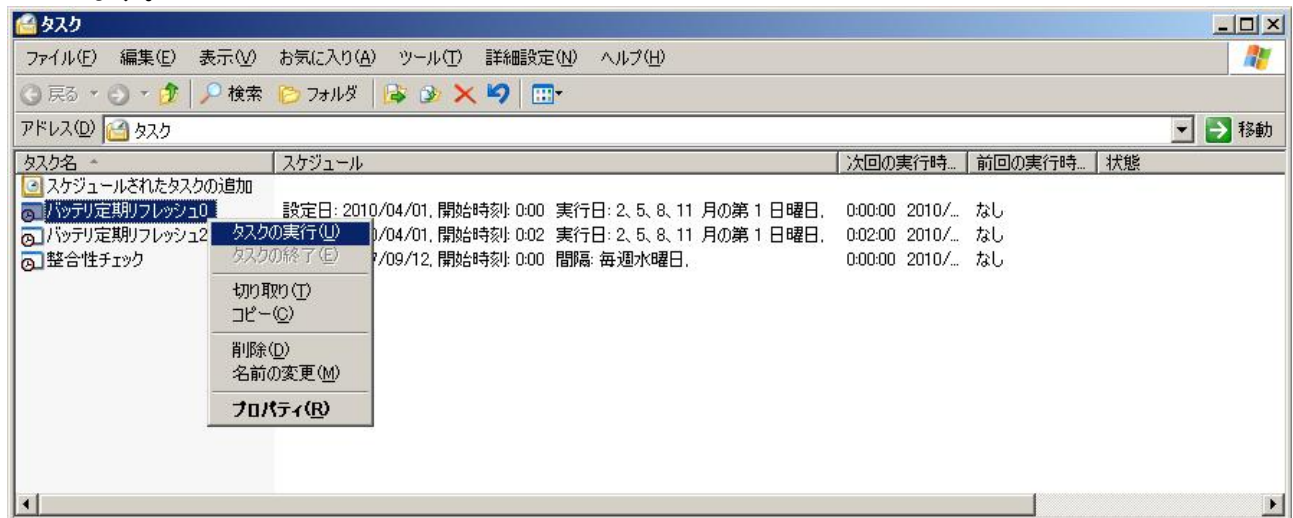
ここでは、バッテリリフレッシュを1度だけ実行する方法(手動実行)について説明します。

### 8.1 タスクの登録

ツールを使用するために、一度タスクに登録します。登録方法は、『5.2 設定方法』を参照してください。

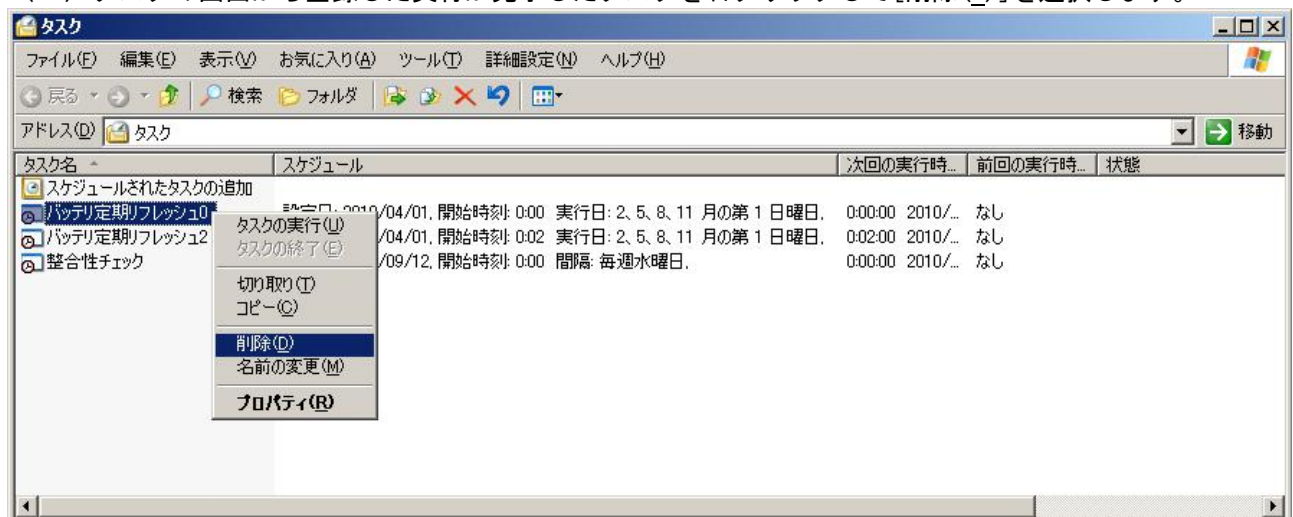
#### 8.1.1 Windows Server 2003

- (1) 管理者(Administrator)権限を持つユーザでログオンします。
- (2) 5.2.1 (2) 項に従ってタスクスケジューラを起動します。
- (3) ツールの実行は、タスクの画面から登録したタスクを右クリックして[タスクの実行(U)]を選択します。



- (4) C:\¥refresh¥result. log に「バッテリー定期リフレッシュを開始しました。」というログが登録されていることを確認してください。

- (5) タスクの画面から登録した実行が完了したタスクを右クリックして[削除(D)]を選択します。

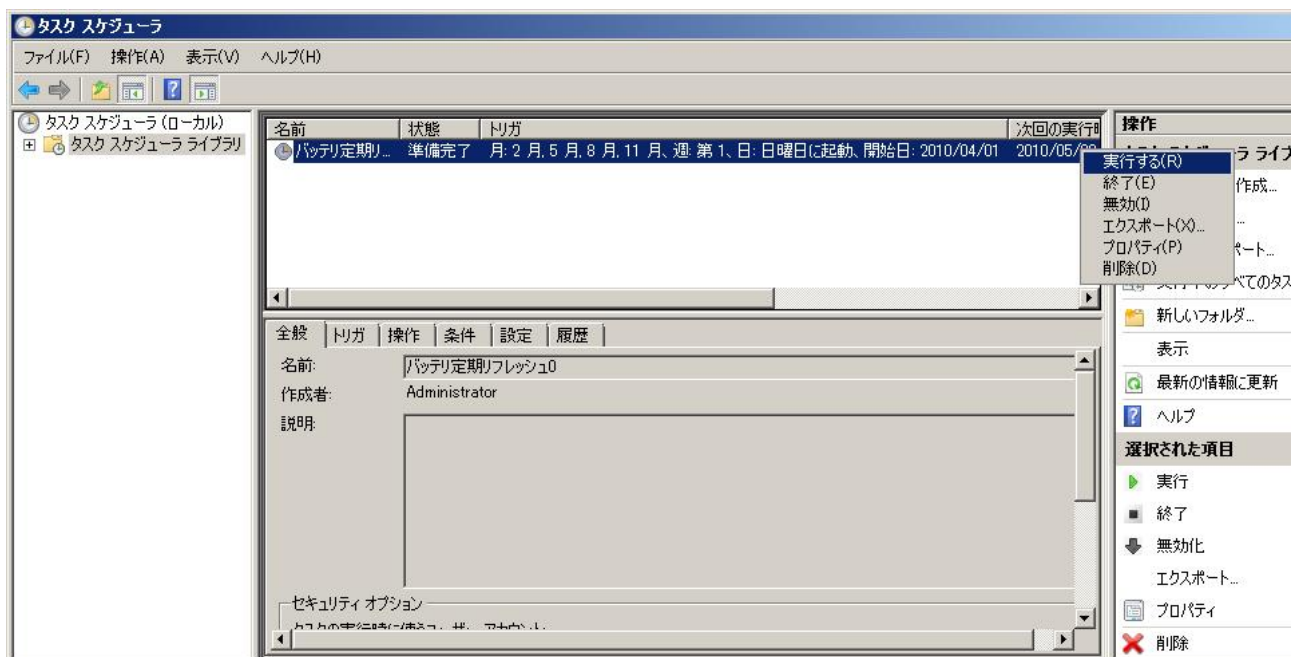


【注意】 ここでタスクから削除しない場合は、スケジュール通り実行されます。



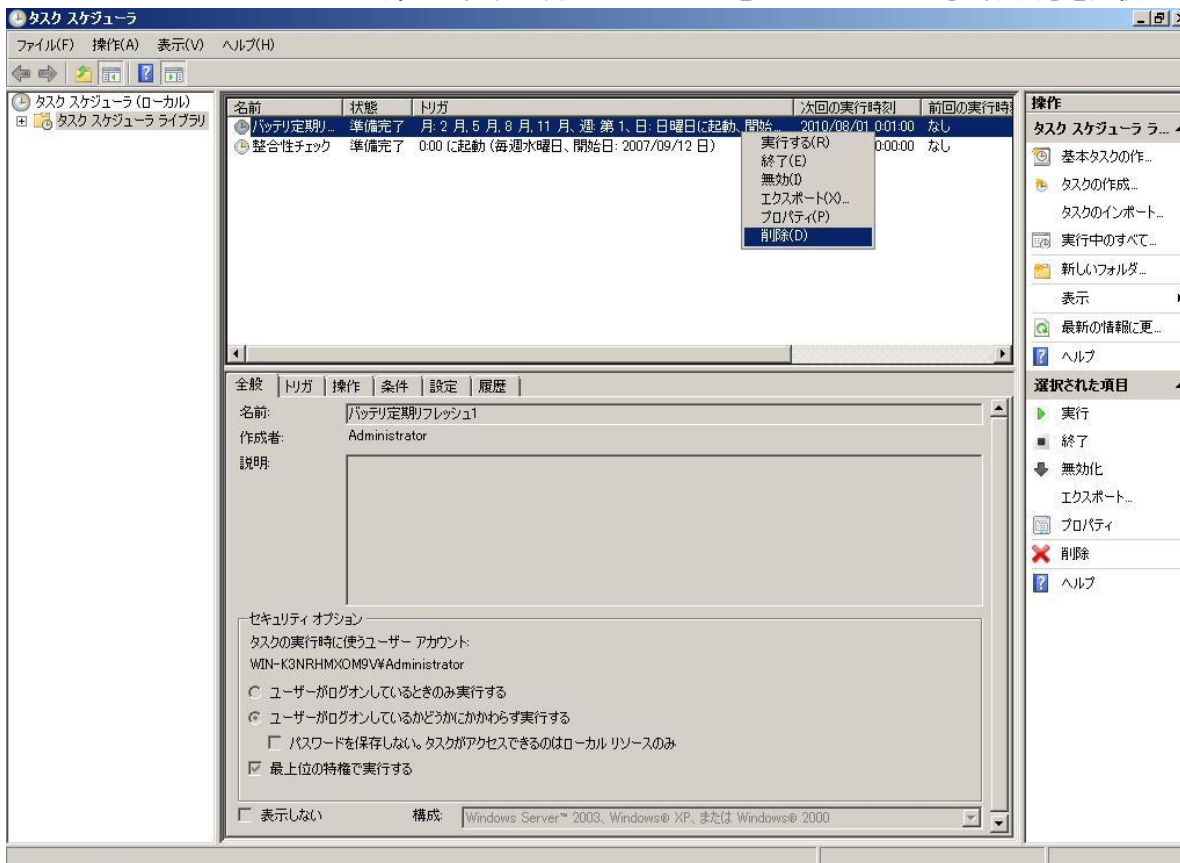
## 8.1.2 Windows Server 2008

- (1) 管理者(Administrator)自身でログオンします。
- (2) 5.2.2 (2) 項に従ってタスクスケジューラを起動します。
- (3) ツールの実行は、タスクの画面から登録したタスクを右クリックして[実行する(R)]を選択します。



- (4) C:\¥refresh¥result.log に「バッテリー定期リフレッシュを開始しました。」というログが登録されていることを確認してください。

- (5) タスクの画面から登録した実行が完了したタスクを右クリックして[削除(D)]を選択します。



【注意】 ここでタスクから削除しない場合は、スケジュール通り実行されます。